

NHK朝の連続テレビ小説「巡るスワン」の 放映等に伴う県内への経済効果の試算

1. はじめに

2027年に信州・長野県が主な舞台となるNHK朝の連続テレビ小説「巡るスワン」の放映が予定されている。同ドラマの放映をきっかけとして、県内各地の豊かな自然・文化・食べ物などへの注目が一段と高まり、観光需要の活性化に繋がることが期待される。

そこで、日本銀行松本支店では、一定の前提を置いたもとで、同ドラマの放映等によって期待される県内への経済効果を試算した。なお、経済効果は、需要・供給の両面で経済・社会情勢等の影響を受けるため、試算結果については相当の幅を持ってみる必要がある。

2. 試算結果

同ドラマの放映等によって期待される効果を試算すると、県内の日本人観光客数の増加は年間105万人、それに伴う県内への経済効果は185億円となった。

経済効果の試算結果

県内の日本人観光客数の増加	県内への経済効果 (A+B)		
		直接効果 (A)	間接効果 (B)
105万人	185億円	122億円	63億円

(注) 直接効果：観光客の増加によって、県内で生み出されるモノやサービスの金額が増加する効果。

間接効果：以下の①②の合計。

- ①直接効果が他の産業に波及する効果 (1次波及効果)
- ②直接効果や1次波及効果によって雇用者所得が増加し、それによって県内消費が増加する効果 (2次波及効果)

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行松本支店までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
本稿に関する照会先：日本銀行松本支店総務課 (Tel : 0263-34-3502)

3. 試算内容

(ステップ1) **過去のドラマの舞台となった地域の観光需要の高まりを試算**

近年のNHK朝の連続テレビ小説の主な舞台となった地域における
放映前後の観光客数の変動率を試算¹⇒+3.1% (A)
これを観光客数の期待増加率と仮定して以下での試算で使用



(ステップ2) **長野県を訪れる観光客の増加数を試算**

当ドラマの放映等によって期待される県内の日本人観光客の増加数を試算²
(年間3,352万人) × (+3.1% A) = 105万人の増加 (B)



(ステップ3) **観光客の増加による観光消費増加額全体を試算**

県内の日本人観光客が増加することによる観光消費増加額全体を試算³
(105万人 B) × (観光消費額単価) = 222億円 (C)



(ステップ4) **県内への経済効果を試算**

観光消費増加額全体の試算結果 (C) をもとに県内への経済効果を試算⁴
⇒185億円 (直接効果：122億円、間接効果：63億円)

以上

¹ 各地方自治体の観光関連統計をもとに、2010年以降（コロナ禍中の2019年度下期から2022年度下期を除く）のNHK朝の連続テレビ小説の主な舞台となった地域（主に都道府県単位、東京・大阪を除く）における放映前後の観光客数の変動率の平均値を算出（刈込平均の手法で算出）。

² 観光客数の資料出所：長野県「観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく令和6年長野県観光入込客統計」。

³ 観光消費額単価の資料出所：長野県「観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく令和6年長野県観光入込客統計」。県内客・県外客別、宿泊客・日帰り客別に試算。

⁴ 長野県公表「経済波及効果分析ツール（令和2年（2020年）表版）観光特化版」を利用。